

活動日 2016年10月13日(木) 2016年10月26日(水)	時間 9:30~11:30 9:30~10:30	天候 (曇り) (晴れ)	記録者 (菅田)
参加者氏名 (13名+10名)	松本治美 米倉進 俵貴志子 丸井宣夫 水島康夫 橋野美子 笹井俊司 菅田忠志 山田喜義 小林澄夫 清水英暢 黒子兵吾 片岡隆夫 塩ノ谷年子 磯野彰夫 田路義弘		
今回実施した 作業内容	<p>()コナラ間伐 ()間伐木ほだ木活用のための玉切り作業 ()間伐木の小枝集め ()既設散策道・作業道の根ササ刈り ()集積小枝のチップ掛け ()今年の枯葉集め () 手動式薪割り活用 ()ササユリ一年芽の手入れ ()幼虫生育場所木枠の天井網木枠づく りと設置 ()カブトムシ観察会に備え、成虫の生育状況の調査を実施</p> <p>1. 村内数か所及び北区内近隣のコナラ林に置いていた「産卵用堆肥袋」10個を回収。産卵状 況を確認した。昨年は袋5個中1個に30匹の幼虫が生育していたが、今年は生育袋なし。 2. 花王の助成金で購入した物置を隣接設置。強風時の転倒防止工事を付加。(1万円) 用具の分類保管など次回に実施する。 3. 活動エリア内の産卵場所で孵化した幼虫の獣害防止として、間伐材の小枝をかぶせる作業 を実施。ことしはこの方法でイノシシの獣害対策としてみる。 4. 緑の募金活動に協力。 5. 今花実の森で咲いている草花紹介。 6. 「平成28年度しみん基金・こうべ」の助成金が受けられることになりました。</p>		
写真記録			



近隣に置いていた産卵用堆肥袋を回収。今年は産卵の実績なし。残念！ 徒労に終わりました。



カブトムシ産卵・生育場所のイノシシ獣害対策として、今年の間伐材の小枝を使って覆いをする方法と、金網をかぶせる方法で対応してみることにした。



新しく物置を隣接設置。収納基準を決め、有効に活用したい。



森林整備を目的として国が定めた“緑の募金”の羽根と募金箱が送られてきた。少しだったが協力し、振込完了。

今、花実の森で見られる草花の一部です



ヤクシソウ



コウヤボウキ



シロヨメナ



ヨシノアザミ



リンドウ

「しみん基金・こうべ」の助成金(22万円)を受けられることになりました

今年も1次審査、ヒアリングを経て残った団体に対し、プレゼンテーションによる公開審査会が10月28日に実施されました。プレゼン後、即時審査員の採点により採否が即決される方式で、毎回福祉分野の採用が多い中、なんとか滑り込みで助成が決まりました。

申請した費用は下記の目的で申請したものが採用されたもので、執行に当たっては、皆さんの意見も聞きながら進めます。

1. 申請の内容：花実の森に「簡易なカブトムシ観察小屋を設置する」
2. 主要な仕様：90角×3mの防腐木材を柱とした木枠を、特注のアルミ組立部材にはめ込み式で組立・ネジ止め。周囲を金網で囲う方式とする。

